

千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌
第19号

発行日：2024年(令和6年)6月1日
発行：富山県立大学同窓会 会長 野開勝政
編集：「千瓢」編集部 [編集長 池上 勤, 編集員 炭谷 優子]
住所：〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内
電話：0766-56-7500 (代表)
メール：senpyokai@pu-toyama.ac.jp
URL：https://tpu-dosokai.jp

情報化時代を担う人材育成を目指して

令和6年4月 情報工学部を開設

令和6年4月、富山県立大学では情報工学部を新設し、
令和8年4月には新校舎の供用開始も予定しています。



令和8年4月供用開始予定の新校舎



データサイエンス学科新設

データサイエンスとは、数学、統計学、機械学習、データマイニングなどの理論（データのばらつきや偏りなどを調べるための学問）を用いてデータの分析や解析を行い、新しい価値を見だし社会へ還元するための学問分野のこと。データサイエンスの応用は、工学、環境学、医学、薬学、農学、経済学、社会学、人文科学など多岐にわたり、看護学の分野でも新しい取り組みが期待されています。

情報工学部学部長

高木 昇 教授



高木学部長に新学部・学科
の特色や人材育成について
紹介いただきました。
P3をご覧ください。



目 次

- 1 巻頭 令和6年4月 情報工学部を開設
- 2 富山県立大学の国際化推進事業 下山 勲 学長
- 3 新設 情報工学部 研究室の近況案内
データサイエンス学科/情報システム工学科/知能ロボット工学科
- 6 この一年を振り返って 野開 勝政 同窓会会長
- 7 工学部 研究室の近況案内 機械システム工学科/電気電子工学科
/環境・社会基盤工学科/生物工学科/医薬品工学科
- 7 この数字をご存じですか？同窓会デー
- 10 富山県のものづくり企業を知る研究会
- 12 私の好きなもの 坂尻 千佳/柳瀬 和宏
- 12 同窓会日誌
- 13 富山県立大学スキー講習会
- 14 大学ニュース
- 14 はてなクイズ
- 15 スキーのジュニア世界選手権を通して 千田 碧輝
- 15 富山県立大学検定クイズ
- 16 退職にあたり 大島 徹/太田 聡
- 16 広告掲載企業一覧
- 17 プレゼント
- 18 ポートランド州立大学語学研修レポート
- 20 2023年度同窓会総会・新校舎見学ツアー・懇親会報告 宇於崎 秀夫
- 21 新校舎見学ツアー参加者の感想
- 21 茶道部創立60周年記念茶会のご案内
- 22 3冊の本 岡本 啓
- 23 寄付金報告・声
- 24 2024年度同窓会総会のお知らせ

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用数学科の1期生です。

富山県立大学の国際化推進事業



富山県立大学学長 下山 勲

コロナの5類感染症移行からほぼ1年が経過し、2023年度には大学の活動が元に戻りました。なかでも、国際交流について、元に戻すだけでなく、2024年度にはさらに推進すべく、2024年度の入学式式辞で、国際化について次のように発言しました。

明治時代、五箇条の御誓文にあるように智識を世界に求め、お雇い外国人を招いて、また、海外から帰国した日本人も教育に参加し、さらに、そこで育った日本人が教育に参加できるようになると、英語の教科書を翻訳して日本語で教育をし、またまた教育された人たちがいわゆる孫弟子さんを育て、日本語の教科書で、訓練としての教育をしてきました。少し前までは情報伝達に時間を要し、海外との人の往来も限られていたのでこのように時間のかかる方法でもよかったのだとおもいます。しかし、今日では「秒」で情報が世界を駆け巡ります。最新のニュースや学術情報はオンラインで世界同時に見ることができます。世界の若者が、自分自身の夢を実現し、また、収入を得るため、高等教育を受け、起業家精神を身につけ、英語でコミュニケーションして成長のフロンティアになろうとしています。とくに歴史的に英語が自然に使える国々の発展は目覚ましい限りです。英語を使えば、世界から情報を集め、世界を相手に活動し、世界のどこでもビジネスができるわけですから、日本の明治時代以降のように国内の体制を整えるのに時間がかからない。跳んだ (leap) わけです。20年ほど前から、世界のトップレベルの大学・研究機関が、シンガポールや香港や中国などの地域、国々に進出し、また米国の大学教員もその地域や国々の国立大学などで雇用され始めたのを見てきました。結果、そこでは英語という世界共通言語で最先端の研究や教育が実施されています。

このような世界の状況の中で、富山県立大学の国際化を推進するために、富山県のご理解のもと事業として次の3つのメニューを提供します。

一つ目は、富山県立大学のシリコンバレーオフィスの設置です。シリコンバレーにオフィススペースと会議スペースをシェアオフィスの形で確保し、学生や教職員が利用できるようにします。日本でもシェアオフィスの利用が進んでいますが、常に面積を占有するのではなく、仕事があるときにオフィス面積や会議室を使うというものです。現地の会社と契約を結び、富山県立大学の教職員、学生が必要ときにオフィスや会議室として利用可能になります。

二つ目は、TPU 米国短期共同研究推進プログラムの推進です。米国大学と富山県立大学との間の共同研究の推進を支援します。教員とともに学生の渡航費等を支援します。とくに、米国大学との共同研究の立ち上げや共同研究が始まってまもない安定した研究費を確保できていないものを含めて、背中を押して推進します。付け加えて、国際化をさらに進めるために、該当する共同研究に関連して、富山県立大学教員と学生、関係米国大学教員と学生、関係日米企業がシリコンバレーの会議室に集まり、シンポジウムを開催し、情報発信、情報収集を行います。

三つ目として、学生が国際的な視点で起業家精神を身につけられるよう、シリコンバレーでの海外研修を推進します。富山県立大学では起業家精神を育てるためにスタートアップ特論を夏に開講しています。追加して本学で起業家精神を養成するための講義を行い、そのうえで、海外研修を希望する学生を支援します。富山県立大学シリコンバレーオフィスで開催される前述のシンポジウムで、自らのビジョンのピッチを行い、また、現地のベンチャー企業の見学会に参加する機会を提供するなど、起業家精神を育てます。

学長は上記のように進めようと思っていますが、さらに、充実した計画になるよう、いま学内で議論を進めているところです。今後とも同窓会の皆様のご理解、ご支援、激励をお願い申し上げます。



未来の自然を考える
株式会社 **国土開発センター**
測量・調査・設計・総合コンサルタント

取締役富山支店長 村岡 清孝
射水営業所長 野開 勝政

富山支店 : 〒939-8213 富山市黒瀬13番地3
TEL(076)420-9800・FAX(076)420-9808
射水営業所 : 〒939-0313 射水市塚越1816番地
TEL(0766)56-8558・FAX(0766)56-8559
http://www.kokudonet.co.jp

緑を育み、未来へつなぐ

株式会社 サカエグリーン

SAKAE GREEN CORP.

代表取締役 山本 栄

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL (076) 434-0036
FAX (076) 434-4968
HP <http://www.sakaegreen.com/>

サカエグリーンはカターレ富山を応援しています

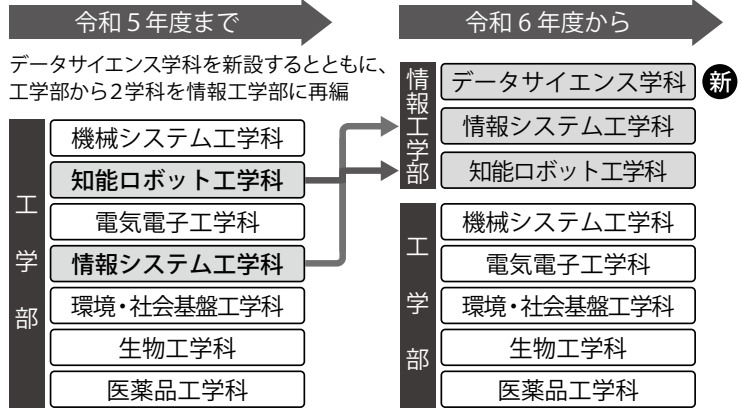
Faculty of Information

新 設

情報工学部

データサイエンスの専門教育
少人数によるゆきとどいた教育
デザイン思考による課題発見解決力
企業の技術者との連携授業

情報工学部新設に際しての学部再編



研究室の近況案内

情報工学部

データサイエンス学科

知能情報学講座

高木 昇 教授

2024年度から新しく情報工学部がスタートしました。情報工学部は、工学部から情報と関係の深い情報システム工学科と知能ロボット工学科を再編し情報工学部へ編入すると共に、新たにデータサイエンス学科を加えた三学科体制で船出をしました。情報工学部新設の主な背景の一つは、不足する高度なIT人材育成と昨今の社会課題解決への強力な武器となる数理・データサイエンス・AIの人材育成が広く社会から求められていることにあります。このため、情報工学部では、文部科学省の主宰する数理・データサイエンス・AI認定プログラム（応用基礎レベル）の認定を目指したカリキュラム編成となっています。

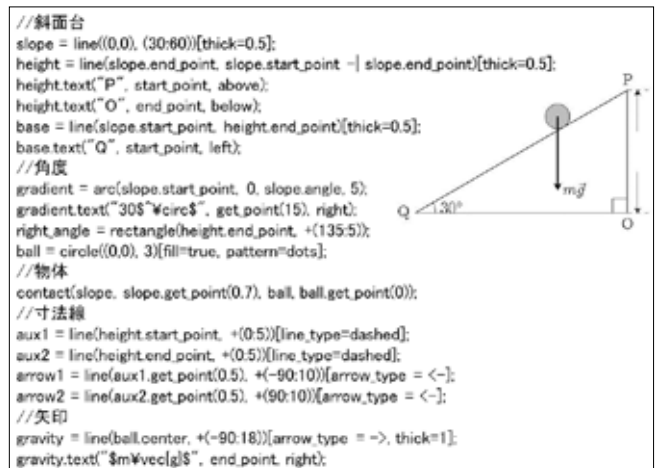
私自身は、2023年度までは工学部知能ロボット工学科に所属していましたが、2024年度からは新設のデータサイエンス学科へ異動しました。とは言え、データサイエンス学科にはまだ一年生しか所属しておらず、このため知能ロボット工学科に所属する4年生を私の研究室の卒研生として受け入れ研究活動を進めています。



現在、私の研究室には、教授の私他、助教のビルグウンマ先生と布施陽太郎先生が所属しています。また、学生は修士2年次生が4名、修士1年次生が3名、卒研生が5名で本学としては比較的人数の多い研究室であると思っています。

私は視覚障がい者支援を目的とした要素技術開発やシステム開発を中心に研究を進めています、例えば、図は本研究室で開発した全盲の視覚障がい者でも利用可能な図形記述言語を使って全盲の方が作図した図です。ビルグウンマ先生はドローン及び自動運転車を安全に運行するためのAIデータ解析、布施先生は人とロボットの共存に向けたエージェントデザインに関する研究に従事しており、それぞれ独立して広い範囲の研究をしている。

写真は、2024年3月16日挙行された学位記授与式の後に、卒業生を含めた研究室の学生と撮ったものです。昨年度は大学院生2名と卒研生3名が巣立っていきました。今後、彼らの社会での活躍を大いに期待しています。



図：全盲の視覚障がい者が利用可能な図形記述言語の開発

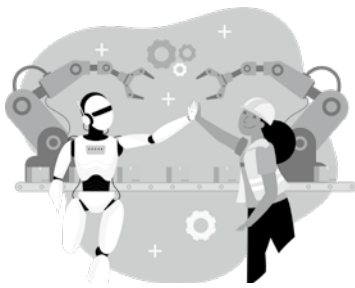
情報応用工学講座

トレイグジスタンス分野
 大山 英明 教授

トレイグジスタンスは、遠隔地の人型ロボットの感覚情報を、操縦者に高い臨場感を持って提示し、ロボットを操縦者の動きに追従するように制御することによって、操縦者がロボットと一体化したような感覚で操縦できる技術です。

富山県立大学情報工学部情報システム工学科大山・木下・平倉研究室では、基礎から応用まで幅広くトレイグジスタンス技術の研究を行っています。トレイグジスタンス分野は、VRを中心とするインターフェイス分野と、ロボット分野、ネットワーク分野の融合分野ですが、各分野の技術とそれらを統合するシステム・インテグレーション技術を磨いています。

応用研究として、トレイグジスタンス型ロボット操縦システムの開発を進めています。通信状況が悪い場合、特に宇宙ロボットのように、通信に時間がかかる場合でも操縦し易いように、図1のようにカメラ画像にCGを重畳表示するAR(Augmented Reality)/MR(Mixed Reality)技術を用いて、操縦しやすい表示を工夫する研究を進めています。



また、ロボットの代わりにその場にいる人に、こちらの思う通りに動いてもらって、様々な作業を行ってもらおうトレイグジスタンス型遠隔作業支援技術の研究も進めています。図2に示すよう

に、遠隔地にいる専門家が現場の作業者の装着しているカメラの画像を、臨場感を保って共有し、AR/MR技術により指示者の手のCGで作業の手本を生成し、同時に作業者の視野にCGの手による手本を表示し、それを作業者が真似ることで、現場で専門家の高度の技能を実現します。この技術は作業支援だけでなく、作業訓練にも活用できます。

インターフェイス分野の研究として、生体信号処理技術の様々な応用を進めています。ネットワーク技術としてSNSの分析を進めており、近年ではユーザの行動まで含んだ理解が必要とされているので、SNS上の意見形成メカニズムの解明にも取り組んでいます。

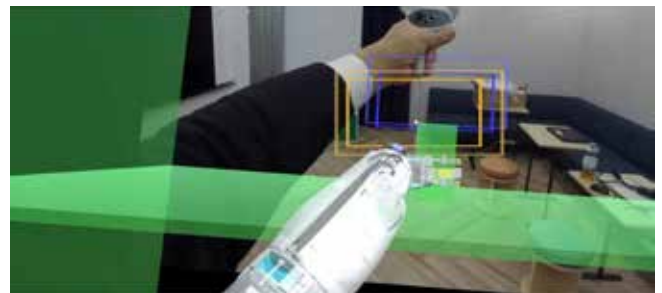


図1 AR/MR表示の開発中の画像

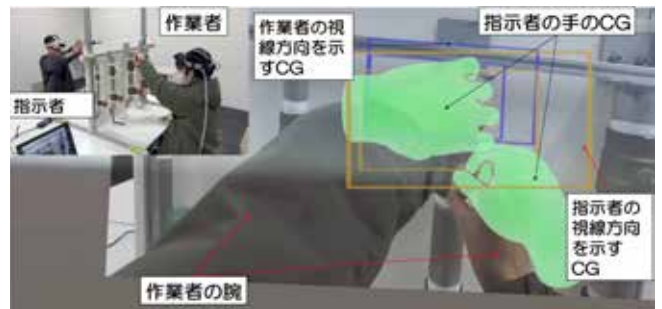


図2 遠隔作業支援の実験の様子



総合建設業

株式会社 婦中興業

代表取締役社長 竹内 茂

〒939-2706 富山県富山市婦中町速星478番地
 TEL (076)466-2333(代) FAX (076)465-5392



測量・設計・補償・調査・計画・施工管理

おがわ
 株式会社 雄川コンサルタンツ

代表取締役 雄川 薫 雅

本社：〒939-1357 富山県砺波市小杉213番地

TEL：0763-33-5628 FAX：0763-33-2895

支店：小矢部・入善・南砺・高岡・立山・射水・氷見

URL：<http://www.1956ogawa.co.jp>

あす
 未来の環境をクリエイトする



株式会社 中部設計

代表取締役 中瀬 壽

本社

〒930-0029 富山市本町10番2号

TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704

研究室の近況案内

情報工学部

知能ロボット工学科

機能ロボティクス講座 澤井研究室

澤井 圭 准教授

2016年4月に工学部 知能デザイン工学科（現知能ロボット工学科）に着任しました澤井 圭（さわい けい）と申します。私の研究室は、「ロボットの遠隔操作」について研究をしています。「ロボットの遠隔操作」と聞くと、誰しも何かしらのイメージが湧くことでしょう。「ロボットの遠隔操作」は、古くから映画やドラマ、そしてアニメ・漫画などで描かれており、またインターネットの普及によって、より身近になったように思われる方も多いと思います。しかしながら、移動するロボットを上手に遠隔操作するには多くの問題があります。

代表的な問題として、移動ロボットが作業する環境では、通信不良リスクが高いことが挙げられます。移動ロボットの作業する環境は、人が入れない場所が多く想定されています。そのような場所は被災地や極地といった場所なのですが、既存の通信設備が故障していて、そもそも通信インフラが存在していない可能性があります。通信が行えなければ、移動するロボットを遠隔操作することはできません。そこで私の研究室では、この問題に対して、移動ロボットが自身（ロボット）のための通信環境を簡易的に構築する手法について研究しています。

私たちの提案する手法は、ロボットが自身の移動する道すがら「ヘンゼルとグレーテル」のお話のパンクズのように、通信を中継する機器をポコポコ置いていくことで、遠隔操作範囲を広げることを目指しています。皆さんが日常で使われている無線LANやスマートフォンを用いる「人のための通信ネットワーク」では、このような手法が既に多く実

現されています。しかしながらロボットのための通信は、まだなかなか発展していないのが現状です。

澤井研では学生さんと一緒に、遠隔操作手法、通信機器の設計・開発、操作性評価方法、そして通信中継機の配置箇所決定手法について議論しながら、この問題と向き合っています。また最近では通信技術を用いた農業ロボットの位置推定や農場自動走行に関する研究を行い、地域貢献を意識した活動を行っております。農業ロボットの研究では、高い走破性能を有するロボットを開発しており、たまに学生さんと一緒にロボットに搭乗して学内散歩を楽しんでいます。そして、これからも学生さんと一緒に楽しく研究活動を行っていきたいと思っています。



農業ロボット



研究室作業風景

地域の未来をつむいでいきます

測量／設計／補償／地籍調査／3Dレーザー計測／システム開発

 株式会社 上 智

本社 〒939-1351 富山県砺波市千代176番地の1
TEL 0763-33-2085 HP www.johchi.co.jp

水と寄り添うテクノロジー。人と街に、安心と潤いを・・・

 水機工業株式会社


本社／富山市黒崎172 (076-491-2533)
小矢部事業所／小矢部市柳原748 (0766-67-2858)
<http://www.suikikogyo.co.jp>




未来の自然をデザイン それ私たちの仕事です。

 北陸コンサルタント株式会社

代表取締役 榮 知之

本社／富山市黒瀬192番地 TEL.076-493-7717
<http://www.hoku-con.co.jp>

 富山県JAグループ

SDGs
国消国産
こくしょうこくさん

この一年を振り返って

富山県立大学同窓会会長 野開 勝政



令和6年元日の午後4時過ぎに発生しました能登半島地震は、これまで経験したことのない大きな揺れにより能登地方を中心に大変な被害が発生しました。富山県内でも震度5強を観測し、特に氷見市や高岡市、射水市等でも液状化による甚大な被害が報告されています。被災されました多くの皆様に、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く平穏な日常生活に戻られることをお祈り申し上げます。同窓会からは被災された学生にお見舞金をお渡ししました。

さて、昨年を振り返ってみると5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行し行動制限がなくなり、多くのイベントや行事が復活しました。私のような高齢者にとってこの失われた3年間は本当に大きな損失だったと思います。また、昨年は春先の暖冬から秋まで猛暑が続き暑い1年だったと思います。7月中旬には富山県内では初めてとなる線状降水帯が発生し、大きな水害も発生しました。その後、連日猛暑が続き、水不足となり農作物は不作な年でした。

一方、我が家では、母が3月に亡くなり悲しみや喪失感などの感情が沸いて落ち込んでいましたが、7月に5年生の内孫が「わんぱく相撲全国大会」に出場することになり国技館で相撲を取りました。一家総勢7人で両国へ向かい応援しました。孫は試合前日から大嶽部屋でお世話になっており、夜はちゃんこ鍋を食べ隅田川の花火見学までさせてもらったそうです。試合当日の相手は神奈川県と同じ5年生でしたが見た目70キロ？孫は35キロ前後の細身体型です。一方的で相撲にはなりませんでしたが、朝乃山と同じ土俵で相撲を取らせて頂き、貴重な体験をさせてもらったと感謝しています。

8月12日には同窓会総会・懇親会を4年ぶりに開催しました。9階建ての新校舎見学会その後、総会、そして懇親会は呉羽ハイツに移動し多くの同窓生参加のもと盛大に開催することができました。



エトワール会集合写真

懇親会を企画して頂いた実行委員会の皆様には敬意を表します。ありがとうございました。

11月には首都圏で活動されている主に技術短大時代の同窓生の集い「エトワール会」に参加しました。近況報告、学生時代の懐かしい思い出話、健康に関する話などで盛り上がり、あっという間に予定の時間が過ぎ去りました。二次会は横浜ベイのロケーション抜群のスタバでお茶を飲みながら語り合いました。お世話されている代表の澤さん、小橋さんはじめエトワール会の皆さんと楽しい時間を共有できました。何十年経っても母校や故郷富山を愛してやまない皆さんの思いが十分伝わってきました。これからも引き続き交流を深めるとともにエトワール会のさらなる発展をお祈りします。

現在、大学では旧短大部の校舎が取り壊され広場として整備されました。我々短大時代の思い出の建物は、大谷講堂だけとなり前を通るたびに一抹の寂しさを感じますが、社会のニーズに応じた知の拠点としてまた、地域に誇りと愛着を持ち社会の発展に貢献できる人材を輩出する大学づくりが着々と進められております。

我々同窓会といたしましても、学生や大学当局から期待され、愛される同窓会活動にしていきたいと思っていますので、本年も会員皆様のさらなるご理解とご支援よろしくお願い致します。

本年8月10日に定期総会・懇親会を開催する予定です。多くの同窓生の参加をお待ちしております。

■追伸

3月16日に学位記授与式に出席しました。卒業生は総勢591名で学長から修了証を受取られた各学科の代表は凛々しく頼もしく感じました。卒業生の答辞を終え例年、来賓者はここで会場を退席するのですが、今年は式典後に高原兄作詞作曲の大学学歌「明日を拓く」を出席者全員で歌いました。締めめの学歌斉唱は感動ものでした。

その一週間後には黒河保育園の卒園式にも招待があり出席しました。会場はお寺で仏式での式典でしたが最後に「園歌斉唱」があり、園児が感動の余り泣いて唄っているのを見て私まで目がウルウルになり、年とともに涙腺が弱くなった自分を再発見しました。



エトワール会懇親会

材料設計加工学講座

棚橋 満 教授

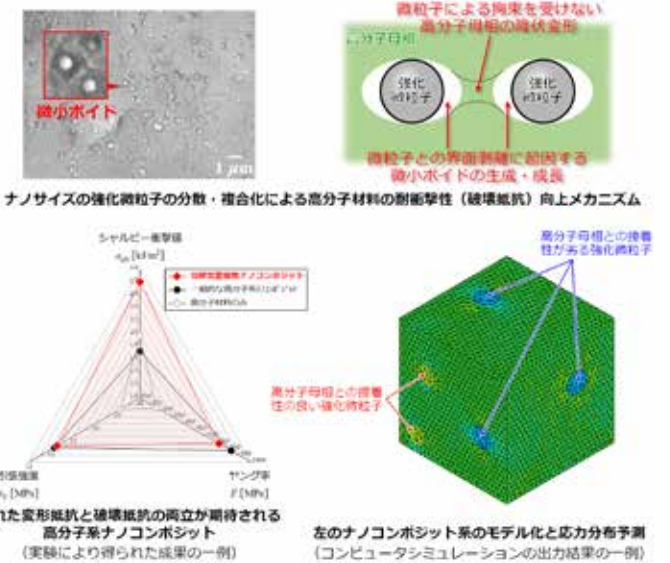
私が富山県立大学に着任して、設計加工学講座の一研究室を担当させて頂くことになってから7年目を迎えました。同講座の真田和昭教授・納所泰華助教の研究室と同じ研究・実験スペースで高分子系複合材料の研究を行っております。具体的には、持続可能な社会の構築に不可欠な省資源・省エネルギー・低炭素化に貢献するモビリティ用途の軽量化構造材料や電子機器の中核部材である電子基板材料のキーマテリアルとして、近年注目されている高分子系ナノ複合材料（ナノコンポジット）を対象とした革新的材料の創製と特性評価に関する基礎研究を展開しています。

研究対象としている nm オーダーの寸法の無機系超微粒子（ナノ粒子）を高分子（樹脂）中に充填・複合化したナノコンポジットは、充填微粒子の分散状態がコンポジット全体の力学特性・熱物性等の各種材料特性に多大な影響を与えますが、ナノ粒子の樹脂母相中での分散・配列制御は、凝集特性を有する微粒子を取り扱う上で実用化レベルでの達成が困難なミッションと認識されています。私たちの研究室では、異種材料界面制御やコロイド化学に立脚した微粒子分散・凝集制御に着目した簡便且つユニークなナノコンポジット調製法を見いだしました。

研究の進め方としては、コンピュータシミュレーションによる特性評価のモデル構築・予測と当研究

室独自の手法により調製したナノコンポジットの特性評価実験・観察による検証・確認を両輪で取り組んでおり、ナノコンポジットの特性発現メカニズムの解明とハイコストパフォーマンス高分子系コンポジットの創製に必要な基礎的知見の獲得を目指しています。

最終的には、学術的貢献だけではなく、社会実装という形で研究成果を富山県内外の産業界へ還元していくことが私の使命と考えております。富山県立大学同窓会の会員の皆様におかれましては、ご指導・お力添えを賜りたく今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



2 この数字を 1
3 存在してるか

同窓会デー “ ”

100円

同窓会では、大学生協と協力して、学内食堂の利用者支援事業を実施しています。毎月第1水曜日に一人当たり300円以上購入された方に対し、「同窓会デー」と銘打って100円をキャッシュバックしています。昨年8月から始まったこの事業を通じて、同窓会の活動に興味を抱いていただき、同窓会を盛り上げていきたいと考えています。「同窓会デー」は、同窓生の皆さんの支援があって成り立っています。学生はもちろん、先生や職員も利用しており、多くの方から喜ばれています。会員の皆さんもぜひ、リニューアルした食堂をご利用してみてください。

令和5年度実施報告（利用者数）

8月(374名) 9月(156名) 10月(519名) 11月(535名)
12月(528名) 1月(450名) 2,3月(生協の都合によりお休み)

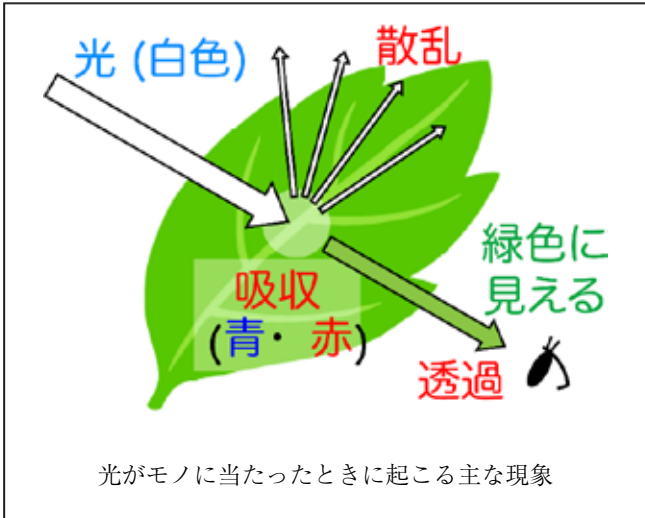


電子通信システム工学講座

光波応用分野

高屋 智久 准教授

当研究室は2019年4月に電子・情報工学科にて発足し、2020年4月より電気電子工学科の所属となりました。私たちは「モノの『中身』の量や性質を測るための、光を利用した新しい計測技術の開発」をテーマに研究を進めています。モノに色がついて見えるのは、モノに光（可視光線）が当たるとその一部がモノに吸収され、人の眼に届かなくなるからです。何色の光がどれだけ吸収されるかはモノを構成する成分の種類と量で決まっています。光の進行方向を色ごとに分解する機器（分光器）と、光の強さに応じた電気信号を発生させる機器（光検出器）を使うと、光の吸収の強さを色ごとに測れるので、モノの構成成分の種類と量を知ることができます。



富山県立大学に着任してから、栽培中の農作物に含まれる肥料の量を分析する方法の開発に取り組んでいます。農作物が吸収した肥料の量を数値で得られれば、栽培経験が浅い場合や、新しい栽培方法を試している場合などでも、生育状況をぐっと把握しやすくなります。当研究室で開発中の分析装置では、農作物の葉をそのまま



農作物が吸収した肥料の量を推定するための分光分析装置

切り取らずに持ってきて光を当て、吸収の強さを色ごとに計測します。得られる色ごとの吸収の強さのパターン（吸収スペクトル）を機械学習的な方法で分析して、農作物が吸収した肥料の量を推定します。今後、圃場で簡単に使えるよう、装置を小型化・軽量化する必要があります。また、測定の高精度を高めるため、光を肥料成分に散乱させ、散乱光の強さを分析して肥料の量を測る方法を開発中です。

研究室発足後、学生の自主的かつ意欲的な取り組みに支えられ、少しずつですが着実に研究を進めることができいております。研究の成果を皆様に還元し、地域社会に貢献できるよう、より一層の努力を続けてまいります。今後とも何卒よろしくお願いたします。



ガンゴな家 マルタカハウスの家
丸高木材株式会社

専務取締役 一級建築士
片境 清久 (S6L.衛生工卒)
(一社)富山県建築士事務所協会 理事

Intertek ISO9001:2015 認証取得 注文住宅・リフォーム

(本 社) 〒934-0058 射水市川口997
☎(0766)82-5101 FAX 84-3637

富山県公安委員会指定

富山県 **第一自動車学校**

〒939-0274
射水市小島 715 TEL0766-52-0722
<http://www3.canet.jp/users/td1>

ゆたかな経験 確かな技術

総合建設業 **中越興業株式会社**
CHUETSU

代表取締役 **山下 博**

本社 富山県南砺市野口800番地 TEL (0763) 62-1221
FAX (0763) 62-1222
富山支店・岐阜営業所 <http://www.tyuetsu-kogyo.co.jp>

次世代のまちを創造する

TERASHIMA CONSULTANT

〒930-0985 富山市田中町一丁目14番10号

研究室の近況案内

工 学 部

環境・社会基盤工学科

社会基盤工学講座

兵動 太一 講師

今年の1月1日に令和6年能登半島地震が発生しました。富山県では広範囲で液状化による被害が発生しました。今後は被害にあわれた被災地や住宅の復興や同規模の地震が再度起きたときのための防災について考える必要があります。

本研究室では、戸建て住宅の液状化対策をターゲットに、安価で持続可能な地盤改良材や工法の開発に関する研究を行っています。例えば、富山県内の第一次産業で発生した廃棄物系バイオマスを活用した液状化対策の開発をしています。その他、昨今少子高齢化で担い手不足が深刻な建設業に一役買うため、ICT技術を活用し地盤工学の要素を取り入れた擁壁の危険度判定に関する研究を行っています。

2019年度に研究室がスタートし、今年度で6年目を迎えました。研究室を立ち上げた当初は、私の講義を受講せずに研究室に配属される学生もいて、地盤工学の研究をどのように指導したらよいものかと四苦八苦しましたが、本学に多い真面目で素直な性格で困難を乗り越え、専門家顔負けの知識を身につけて堂々と卒論・修論発表に望む姿を見て、逆に学生から元気と勇気をもらうこともありました。また、地盤工学は防災に特化した分野でもあるため、学生たちの多くが使命感を持って研究に挑んでくれていることに嬉しさを感じます。

残念ながら短い研究室の歴史の大半がコロナ禍で、昨年まで現地にも十分行く事が出来ず思うようにデータが取れないこともありました。今はコロナも5類となり、行動制限がなくなったことで、コロナ禍で控えていた研究発表を国内外で積極的に行っています。初めて大学院生に海外で発表してもらっ

たのですが、その発表が Best Poster Presentation Award に選ばれたときはコロナ禍での我慢が報われた気がして、受賞した学生と一緒に大喜びをしました。今年度も引き続き研究成果を学外に情報発信をしていきたいです。また、冒頭でふれた能登半島地震の被災地の復興や防災の一助になるべく研究室一丸となって研究活動を続けていきます。



受賞時の様子
(学生は左から3番目、Geotech Hanoi2023にて)



2023年度卒業式



松原建設
MATSUBARA CONSTRUCTION CO., LTD.

<http://matsubara-kensetsu.com/>

理化学器機・産業器機 計測・試験機器

山本理化
山本文雄

〒939-8046 富山市本郷新 63-5
TEL : (076)461-4773 FAX : (076)461-6957
E-mail : yamamoto-rk@fancy.ocn.ne.jp

Life with Green Technology
環境技術でひらく、豊かな暮らし

三協アルミ

北信越支店 富山ビル建材部
〒930-0982 富山市荒川3-2-6 TEL(076)492-0083

植物機能工学講座

野村 泰治 教授、加藤 悠一 講師、宇部 尚樹 助教

当研究室は、2006年4月の生物工学科の開設に先立ち、2005年4月に生物工学研究センター（現生物・医薬品工学研究センター）の6番目の研究室として発足しました。私（野村）は2009年に助教として着任して以降所属しており、その間スタッフの転出入が幾度かありましたが、特にこの1年間で体制が大きく変わりました。昨年、発足以来研究室を主宰されてきた加藤康夫教授が酵素化学工学講座の教授に異動され、私が後任として講座を主宰することとなりました。さらに今年は加藤悠一講師を迎え、3人体制での新生植物機能工学講座が始動したところでした。

植物の「代謝」というと光合成を思い浮かべる方が多いと思いますが、植物はそういった生命維持に必須の「一次代謝」に加えて、「二次代謝」とよばれる代謝を行います。植物二次代謝産物は有用物質の宝庫であり、医薬品をはじめとするさまざまな産業分野で利用されています。当研究室ではこれら植物特有の機能に着目し、有用植物代謝物の探索や、それらが植物の中で作られる過程を解明する基礎研究を行いつつ、植物細胞培養と遺伝子組換え技術を用いて、有用物質を簡便に生産できる低環境負荷の物質生産技術の開発研究を行っています。研究対象の中には、富山県花であるチューリップの二次代謝

も含まれています。

私たちの研究室のセールスポイントの一つは、幅広い技術背景に基づいて、化合物、タンパク質/酵素、遺伝子、細胞/植物体のすべてを対象として全方位的に研究を進められることです。「植物の代謝に関することなら何でもできる」オンリーワンの研究室となることを目指しています。先端技術を取り入れながらも、流行にとらわれない独創的な研究で世の中がアッと驚く発見・技術開発を行っています。教員と学生がスクラムを組んで前に進み、ともに研究活動を通して人間的に成長することを大事にしています。



研究室メンバーの集合写真（2024年3月撮影）

富山県のものづくり企業を知る研究会

機電工業会様とのタイアップ企画交流会

知能ロボット工学科の特別講義において、富山県機電工業会のご協力のもと、富山県のものづくりの魅力と企業を知る研究会が2月2日（金）に開催されました。

本学の卒業生が多数働いている10社にお越しいただき、学生とグループディスカッションするというもので、就職活動を開始している知能ロボット工学科及び電気電子工学科の3年次生をはじめ、トピックゼミの2年次生や研究室の大学院生を対象に行いました。

このイベントは、同窓会も協力させていただいており、グループディスカッションの後に懇談の時間を設け、県内企業にお勤めの同窓生と学生及び先生方が交流できる場を提供しました。お菓子や飲み物を楽しみながら、和やかな雰囲気の中で有意義な時間を過ごしていただけたと思います。

企業説明会とは違い、リラックスした雰囲気ですら質問できる場は貴重であり、今後もこのようなイベントを他学科でも開催し、さらなる交流を深めていきたいと考えています。

今回は、初めての試みということもあり、同窓会枠では、田中精密工業様のみのご参加となりました。今後、広く募集をしたいと考えております。

募集！

参加を希望される企業様は、同窓会事務局までご連絡ください。

定期開催ではありませんので、イベントが企画されましたらご案内いたします。



■ 研究室の近況案内

工 学 部

医薬品工学科

バイオ医薬品工学講座

古澤 之裕 准教授

医薬品工学科バイオ医薬品工学講座の古澤之裕と申します。本学には2015年から在籍しており、当時教養教育（現・工学部教養教育センター）で生物学を担当しておられた佐藤幸生教授の後任としてご採用いただきました。

元々が薬学部出身ということもあり、2020年からはバイオ医薬品工学講座の榊利之教授の後任として異動いたしました。私が本学に赴任した当時は、まだ医薬品工学科も新校舎も存在していませんでしたが、赴任から10年の間に学部・学科が拡充され、新たな校舎が設立されるなど、本学が発展していく様をリアルタイムで強く感じております。

私たちの研究室では、「腸管免疫」を中心とした研究に取り組んでいます。腸は栄養や水分を吸収する器官ですが、実は体の中の免疫細胞の約70%が腸に集まっており、最大の免疫器官としてもはたっています。さらに、ヒトの腸管には体細胞と同数程度の腸内細菌が生息しており、腸内細菌の不調が我々の免疫疾患（例えば腸炎、アレルギーやリウマチなど）の発症要因となることがわかってきました。

当研究室では、腸内細菌をコントロールすることで免疫疾患の予防に役立つような機能性素材の探索を行っています。また、腸内細菌は独自の代謝産物を介して免疫系をコントロールしているため、その作用機序を明らかにし、代謝物の標的分子をターゲットとするような免疫治療薬の候補を探索しています。

まだ設立して間もない研究室で、医薬品工学科に異動した当初は昔からの研究員1名と外部の学生

が1名ずつといった小さな所帯でした。写真にもある通り、少しずつメンバーが増え、ようやく大学の研究室らしい形になってまいりました。今後も医薬品工学の視点から人々の健康に役立つ研究に取り組み、研究を通じて人材育成や社会貢献につなげていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



大学最寄りの小杉駅付近にて
卒業生（前列左から1番目）の送別会。

後右から1番目は設立当初からの研究員。後右から2番目が古澤。他、学部生または大学院生のラボメン達

撮影は会社の終業後に送別会にかけつけてくれた
本学2022年度修了生



KIKURA DIP DESIGN & PRINTING

わたしたちは、
優しさを印刷しています。

エコアクション21
認証番号 0001670

24000379(02)

企画・デザイン・印刷・製本・ソフト開発

キクラ印刷株式会社

〒933-0322 高岡市樋詰48-2
[TEL]0766-31-2794 [FAX]0766-31-3526

未来のはじまりは「NIX」

NIX

NiX JAPAN

NiX JAPAN 株式会社
(旧社名:株式会社新日本コンサルタント)
本 社 富山市奥田新町1番23号
東京本社 東京都千代田区東神田二丁目5番12号

HP Instagram

「感謝」の気持ちと「技術」で応える
感動につながる 仕事づくり

砥波工業株式会社

代表取締役社長 上田 信和

砺波市中央町1番8号 TEL(0763)32-3105
<http://www.tonamikogyo.co.jp>

総合建設コンサルタント

株式会社 建成コンサルタント

代表取締役社長 瀬 川 光太郎

本社 〒933-0014 富山県高岡市野村 284-1
TEL 0766(25)6097 FAX 0766(25)5697

✈️🍷🌞🌸🌙 私の好きなもの 🌧️🍷🌞🌸🌙

坂尻 千佳 (さかじり ちか)

富山県立技術短期大学
1985年卒 応用数学科 22期生

①スキー

技短の体育の実習で、初めてスキーを経験しました。その時山頂で見た、白と黒だけの本当に水墨画のような景色にはまってしまいました。現在は、福光スキークラブに所属し、IOX-AROSA スキースクールのスキー認定指導員として、1, 2月の土曜の午後は子供たちにスキーの楽しさを教えています。同級生やスキー仲間、主人などと年30日以上滑っています。



白馬八方尾根スキー場 黒菱ゲレンデにて

②弓道

コロナ禍にどこにも行けず、おすむすしていた時に、町(石川県津幡町)の募集を見て始めました。的に命中したときの爽快感はたまりません。的中率はまだまだ低いのですが・・・今年春、三段の審査に無事合格しました\(^o^)/

同窓会日誌

富山県立大学同窓会 炭谷優子事務局長の日誌です。

2023年7月21日 ポートランド州立大学語学研修生への激励金

コロナ禍により中止されていた海外研修が、ようやく再開されました。本同窓会は、参加者5名のうち工学部の4名に激励金の助成を行いました。



7月21日(金)に行われました激励金贈呈式では、本学の国際交流委員長である脇坂先生が、熱いエールとともに学生たちに激励金を手渡しました。

③旅行・ドライブ

技短の応用数学科で同級生だった主人と結婚当初から旅行やドライブに行っています。47都道府県、全国制覇済みです。食べ物、観光、イベント、スキーなどが目的です。宇宙旅行に行くのが夢です。(宝くじ当たれ!!)



主人と沖縄旅行 首里城にて

《近況》

令和6年能登半島地震で、職場である石川職業能力開発短期大学校(穴水町)が被災してしまいました。復旧に時間がかかるため、学生は4月から魚津市の北陸職業能力開発大学校に一時移転して授業を行っています。私は穴水の復興事業を行いながら、時々魚津で学生指導や授業を行っています。この年になっての大きな変化と初めての経験にあたふたしている毎日です。



「恥ずかしながら、殻を破って違う自分を探してください。そして、違う自分を作ってください。」という言葉が印象的でした。

同窓会はこれからも学生たちの夢と挑戦を応援し続け、新たな才能が芽生える場を提供していきます。異なる自分に出会い、成長する旅路が、彼らにとって素晴らしいものとなることを願っています。

2023年8月2日 学内食堂 毎月第1水曜日は「同窓会デー」

大学の食堂で、「同窓会デー」が始まりました。初回は8月2日に実施され、私も13時を過ぎて食堂を利用しました。ポスターを見て興味を持ってくださっている学生さんの姿が印象的でした。

2023年10月21,22日 2023県大祭

1日目は残念ながら雨模様でしたが、2日目は晴れて、非常に気持ちの良い一日となりました。お笑い芸人ライブ、模擬店、ステージ企画など、楽しいイベントがたくさんありました。

学校全体を使った謎解きスタンプラリーがとても興味を引いたのですが、時間の都合で参加できませんでした。(P22につづく)

柳瀬 和宏 (やなせ かずひろ)

工学部 電子情報工学科 2 期生 1995 年卒

①クルマ

いろいろな工業製品の集合体であり、自由に移動できる機能を提供してくれるクルマ。クルマ好きの中でも少数派の「最新技術車」が好きで、いろいろな電子制御やコネクテッド機能を使っています。約1500ページの取扱説明書も買い替えるたびに読み込みます。県立大時代も電子制御向けソフトウェア研究などから変わらず、業務でも自動運転やEV向けの事業企画を担っています。



②旅

クルマだけでなく、鉄道、航空機、船舶、自転車、そして徒歩含めていろんな手段を使って旅しています。昨年10月には「九州一周旅(8日間)」をしてきました。けっこうマイナーなスポットにも行きます。写真は「長部田海床路」というスポットです。有明海の満潮干潮差から水没を前提とした道路です。「出川哲郎さんの充電バイク旅」で知りました。県立大時代のトラックドライバーのアルバ



イト経験から、徹夜での移動も苦勞ではなく楽しみです。

③野球

会社の草野球チーム(今年は結成50年!)に新入社員時代から参加しています。会社内のリーグ戦、市の大会、練習&練習試合など、土日祝の半分近くは野球です。県立大時代も野球部で、打撃は苦手でしたが現在は主にサード/ショート/リリーフ投手を担っています。



《近況》

昨年夏に新校舎見学ツアーに娘と参加しました。私の入学当初も開学2年目でワクワクしていましたが、令和の新校舎で学べる学生さんもワクワクしそう、と感じました。娘は今年高校生になりましたが、そのさきの進路に県立大があるかもしれませんが(強制はしていませんが、毎年4回の東京~富山帰省が影響しているかもしれません…)

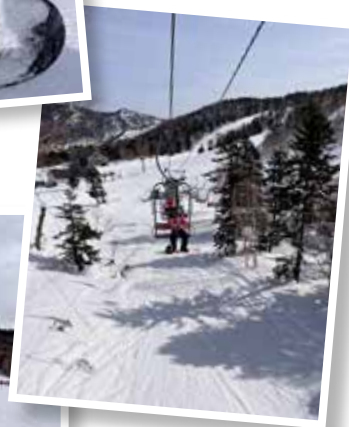


富山県立大学スキー講習会

(同窓会より一部支援をしております)

小原 優陽 (情報システム工学科 3 年)

富山県立大学のスキー講習会では、参加者28名が一泊二日のプログラムで志賀高原に向かいました。1月14日、早朝に射水キャンパスを出発し、バスで移動しました。志賀高原に到着後、参加者は宿泊施設にチェックインし、スキーの準備を整えました。その後、インストラクターによる丁寧な指導のもと、スキー技術の向上に取り組みました。翌1月15日、朝食後に再びスキー場に出向き、フリーの日として、参加者は自由に志賀高原の施設やスキー場を楽しむことができました。自己流での滑走や、志賀高原の観光スポットの探索など、各自が自由に過ごしました午後には宿泊施設に集合し、射水キャンパスに帰る準備をしました。このフリーの日を通じて、参加者はスキーを行いリフレッシュし、さらに親睦を深めることができました。



大学ニュース

役職教員

- 学 長 下山 勲 教授
- 理事・副学長（教育研究） 中島 範行 教授
- 副学長（情報戦略） 鳥山 朋二 教授
- 副学長（コンプライアンス） 岡本 恵里 教授
- 工学部長・工学研究科長 坂村 芳孝 教授
- 情報工学部長 高木 昇 教授
- 看護学部長・看護学研究科長 佐伯 和子 教授
- 看護学専攻科長 松井 弘美 教授
- 学生部長 岡本 啓 教授
- 入試・学生募集部長 中川 慎二 教授
- 附属図書館長 福原 忠 教授
- 地域連携センター所長 堀川 教世 教授
- キャリアセンター所長 伊藤 始 教授
- 情報基盤センター所長 大寺 康夫 教授
- 生物・医薬品工学研究センター所長 加藤 康夫 教授
- DX教育研究センター所長 唐山 英明 教授
- 教養教育センター長 平野 嘉孝 教授
- 工学部学科長
 - 機械システム工学科 真田 和昭 教授
 - 電気電子工学科 吉河 武文 教授
 - 環境・社会基盤工学科 脇坂 暢 教授
 - 生物工学科 占部 大介 教授
 - 医薬品工学科 磯貝 泰弘 教授

- 情報工学部学科長
 - データサイエンス学科 高木 昇 教授
 - 情報システム工学科 中田 崇行 教授
 - 知能ロボット工学科 小柳 健一 教授

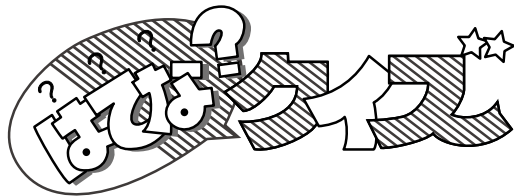
昇 任

- 機械システム工学科 宮本 泰行 教授
 - 環境・社会基盤工学科 黒田 啓介 教授
 - 環境・社会基盤工学科 呉 修一 教授
 - 教養教育センター モクタリ 明子 准教授
 - 教養教育センター 石田 知子 准教授
 - 教養教育センター 井戸 啓介 准教授
 - 生物工学科 深谷 圭介 講師
- 学部異動および昇任
- 知能ロボット工学科 増田 寛之 教授
 - 知能ロボット工学科 塚越 拓哉 准教授
 - 知能ロボット工学科 野田 堅太郎 准教授
 - 知能ロボット工学科 森重 健一 准教授

退 職

令和6年3月31日をもって退職されました。

- 大島 徹 教授（知能ロボット工学科）
- 太田 聡 教授（情報システム工学科）
- 濱 貴子 准教授（教養教育センター）
- 日比 慎 准教授（生物工学科）
- ゲネック ベンジャミン 助教（機械システム工学科）



同窓会では大学生協と協力して学内食堂での利用代金を毎月第1水曜日に同総会デーと銘打って補助しています。その額は何円ですか。

ヒント：7ページの「この数字をご存じですか」を見て下さい

答えは ○○○円

☆同封のはがき、またはメールで答えと住所・氏名を書いてご応募下さい。正解者10名に図書カード(500円)進呈。正解者多数の場合は抽選とします。締切9月末（当日消印有効）。答えと一緒に「千瓢」の感想も書いて下さい。

応募先

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
富山県立大学同窓会事務局
E-mail senpyokai@pu-toyama.ac.jp
締切9月末（当日消印有効）

応募フォーム



「千瓢」18号クイズの答え

富山県立大学では2024年度から情報工学部が新設されます。富山県立大学の学部数は何学部になりますか。

答えは 3学部

正解者の中から抽選で10名の方に、図書カードをお送りしました。
おめでとうございます。



スキーのジュニア世界選手権を通して

千田 碧輝 (工学部 医薬品工学科 2年)

(同窓会より激励金をお渡ししました。)

私は2024年4月3日から6日かけてイタリアのキエーザ・イン・ヴァルマレンコで開催された2024 FIS フリースタイル・ジュニア世界選手権に出場した。海外の公式戦に出場することが今大会で初めてであり、慣れないコース状況にコンディションを合わせることに苦労した。コースの斜面は1stセクション後と2ndセクション前で2度の斜度変化があり、全体として急斜面のコースだった。コブのピッチが全体的に狭く浅く、少し横に向けた重なりがちに感じた。このコースは先月のワールドカップにも使用されたコースで、今大会でもワールドカップ選手が多く参加した。

4月1日から公式トレーニングが始まる予定だったが、前日大雪が降り、コースが全て埋まった。そこで2日からコースが作り直され、公式トレーニングが始まったのは3日だった。これにより6日に予定していた団体デュアルモーグルが中止するなど予定が大きく変更した。結果は4月5日のモーグルでは元々1stセクションでコークスクリュー720ミュートクラブ、2ndセクションでバックフリップミュートクラブをトリックとして使う予定だったが当日のコース状況により難易度を下げて両エアともクラブをしないエアにした。決勝進出が目標だったが結果は29位で予選敗退した。6日のデュアルモーグルではラウンド64でアイルランド代表のDooley Thomas選手に35-0勝利、ラウンド32でモーグル種目チャンピオン、フランス代表のJeannesson Mateo選手と戦い9-26で敗北、21位だった。私としては両日とも悔いが残る結果に終わってしまったが、世界トップクラスの選手らとの壁を感じ、今後の目標が定まったと思う。

大会を終え8日にマルペンサからチューリッヒ経由で帰国する予定だったが、チューリッヒ行きの便が欠航となり、私は日本チームのメンバーとは別でヒースロー空港を経由して1人で帰国することになった。私は方向音痴で普段から目的地とは逆方向に進んでしまうことがよくあり、1人で海外のハブ空港から帰国することは不安でしかなかった。合計

17時間を超えるフライトを経て帰国できたときはとても感動し、自分の成長を感じた。

今大会は多くの方に応援していただいたことで最後まで滑り切ることができた。応援していただいた全ての方に感謝するとともに、今後も応援していただけるようにより一層の努力を重ねていきたい。



大会公式練習中コーチングを受ける千田



大会終了後ゴールエリアでの写真



オープニングセレモニーにてJAPANチームの集合写真



4月5日モーグル種目のファーストエアにてコークスクリュー720

富山県立大学検定クイズ

あなたは富山県立大学のことをどれだけ知っていますか？是非クイズに挑戦して下さい。



Q1 2020年に完成した射水キャンパスの中央棟の高さは何メートルですか？

- A. 20m B. 42m C. 55m

Q2 同窓会の機関誌「千瓢」は歴史上の人物にちなんで命名された、その人物は？

- A. 徳川家康 B. 織田信長 C. 太閤秀吉

Q3 企業や自治体と連携して教育と研究を進めていく新たなデジタルの拠点として2022年に開設されたモーションキャプチャなどの最新の装置を備えた施設名は？

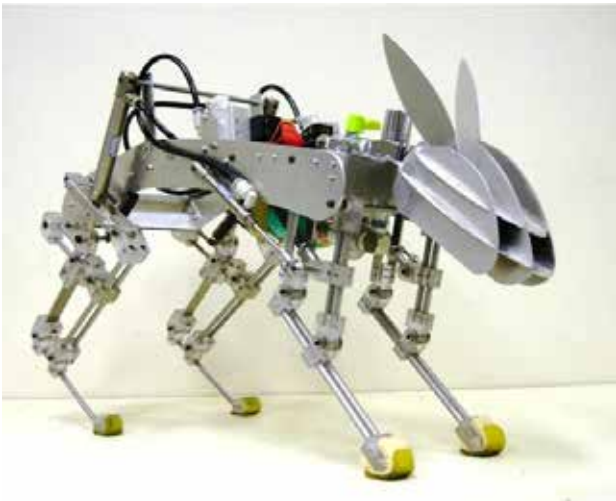
- A. DX教育研究センター B. DSセンター C. VRセンター

退職にあたり



知能ロボット工学科 教授
大島 徹

富山県立大学開学の1990年、中沖豊富山県知事、藤井澄二富山県立大学長に迎え入れていただき、機械システム工学科、知能デザイン工学科、知能ロボット工学科と34年もの長きにわたり教育研究活動が続けられましたことに心より感謝申し上げます。春は桜の開花とホタルイカやシロエビとともに研究室に新たな学生の皆様を迎え入れ、夏は残雪残る立山での研究合宿、秋は富山の紅葉と国内外の学会での研究発表、寒ブリや紅ズワイガニとともに厳しい冬の中での卒業論文や修士・博士論文の仕上げと、富山の四季折々を満喫しながらの充実した幸せな34年間でした。今後も富山にて皆様からの教えを励みに学びを続けていきたいと思えます。どうもありがとうございました。同窓会会員の皆様のご活躍とご健勝、富山県立大学ならびに同窓会の益々のご発展をお祈りします。



学生の皆さんが創った二関節筋跳躍ロボット



情報システム工学科 教授
太田 聡

2024年の3月、本学を退職しました。本学に着任したのは2012年研究室にて2006年4月のことですから、18年の間、本学でお世話いただいたこととなります。自らの浅学無才のため、大学の仕事を上手にできたとは到底思えません、なんとか定年の日まで勤務できたのは教職員の皆様の親切なご支援があったゆえのことです、お礼申し上げます。一方、意外なことですが、退職にあたり謝意を伝える方も複数おられました。その半分はお世辞としても、残り半分が真実なら自分が本学に勤務したことにも意味があったのかもしれない。考えてみると、周囲の教職員の方々と、ずいぶんいろいろなことをやってきたものです。カリキュラムの検討、学科紹介冊子の作成、コロナ禍への対応、卒業論文の指導や授業、いろいろな委員会活動、他にもいろいろ。それぞれの瞬間に、能力の範囲内でエネルギーを注いだことが大学のためになったなら幸いなことです。最後に、本学の発展と本学同窓生の皆様の一層のご活躍をお祈り申し上げます。



富山県立大学検定クイズ 答え

- A 1 : B. 42メートル
- A 2 : C. 太閤秀吉
- A 3 : A. DX 教育研究センター



広告掲載企業一覧



- (株) 雄川コンサルタンツ
- キクラ印刷 (株)
- (株) 建成コンサルタント
- (株) 国土開発センター
- (株) サカエグリーン
- 三協立山 (株)
- (株) 上智
- 水機工業 (株)
- 中越興業 (株)
- (株) 中部設計

- (株) 寺島コンサルタント
- 砺波工業 (株)
- 富山県農業協同組合中央会
- 富山県第一自動車学校
- Nix JAPAN (株)
- (株) 婦中興業
- 北陸コンサルタント (株)
- 松原建設 (株)
- 丸高木材 (株)
- 山本理化

プレゼント 10名様

今回のプレゼントはヴィーガンアイスクリームです

日本のベニスといわれる射水市新湊の内川、その内川に大きな手の彫刻が4つもある山王橋と赤いかわいい二階建て歩行者専用の東橋（スペインの建築家が設計）の間に3月ヴィーガンカフェの草分けと言われる8ablish TOYAMA(エイタブリッシュトヤマ)（東京・南青山本店）が新湊きつとときと市場より移転オープンしました。素材にこだわりおいしさを追求したヴィーガン、オーガニック、グリテンフリーのカフェやクッキー、アイスクリームを製造販売している。

今回プレゼントするアイスクリームは、乳製品不使用で有機豆乳をベースに厳選した自然素材でつくるオリジナルヴィーガンアイスクリームです。素材そのものの良さを引き出したシンプルな味わいと、ずっと口の中で溶ける軽い食感が特徴です。

内川は最近脚光を浴びて、多くの店が出店しているが、しゃれたライムグリーン（目の前の船と同じ色）の外観が目印で、デザインにこだわった製品はプレゼントにもぴったりで、内川散策時に立ち寄ってみてください。

〈ヴィーガン製品は卵・バター・ミルクなどの動物性食材や精製された白砂糖を一切使用しない製品〉



8ablish TOYAMA
富山県射水市立町 14-2
営業時間 9:00 ~ 16:00 不定休
☎ 8ablish_toyama



～抽選で10名にプレゼント～

「ヴィーガンアイスクリーム」希望と書いて、はがきかメールでご応募ください。ホームページからもご応募できます。

締切8月末（当日消印有効）

応募先

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
富山県立大学同窓会 「千瓢」編集部

Email:

senpyokai@pu-toyama.ac.jp

ホームページ:

<https://tpu-dosokai.jp/>

応募フォーム



— 前号プレゼント当選者発表 —

カフェしえる『焼きがし Gift』

瀧澤 依里さん	鈴木 康裕さん
山本 晶子さん	得永 栄治さん
林 真美さん	小坂 一彦さん
上 慧さん	中村 桃子さん
館 身果さん	川野 倫代さん

当選おめでとうございます。

ポートランド州立大学語学研修

現地家庭でホームステイをしながら、アメリカ合衆国オレゴン州のポートランドにある州立大学にて英語授業及びフィールドワークを含む選択授業（ポートランド大衆文化・アメリカンビジネスの2種類から選択）を受講された3名のレポートを紹介し、参加者皆さんのレポートはホームページに掲載しております。

(同窓会より、参加された皆さんに助成金をお渡しいたしました。)

語学研修参加者

2023年8月17日(木)～9月10日(日)

夏
期

機械システム工学科 1年 山崎 敦也 (やまざき あつなり)

知能ロボット工学科 2年 宮崎 修太朗 (みやざき しゅうたろう)

医薬品工学科 2年 林 飛隆 (はやし ひりゅう)

情報システム工学科 2年 吉田 光希 (よしだ こうき)

春
期

2024年2月18日(日)～3月11日(月)

生物工学科 2年 寺元 晴香 (てらもと はるか)

(学年は当時)



様々な違い

山崎 敦也 (やまざき あつなり)
機械システム工学科 1年

私は今回の研修で初めて海外に長期間滞在しました。そこでは多くの日本との違いを見つけました。

一つは、感謝の方向の違いです。通学のバスでのことです。人が降りる際に Thank you. というのです。勿論日本でもありがとうございますと聞きますが、それは運転手がいうのであって、ここでは乗客が言い、運転手が言い返すというものです。これはバスに限らず、ファストフード店に行ったときにも商品を受け取った客が Thank you. と言いました。日本では店員がありがとうございますと言うはずですが、日本では店員が客に、今回行ったポートランドでは客が店員に感謝をします。これはチップ文化も同じだと考えています。チップは金銭という形で感謝をしているのです。

そして、生活様式も異なります。玄関は今回お世話になった家は靴を脱ぎましたが、靴を脱いでおく段差がありません。食事は野菜料理が少なく、焼き物やハンバーガーのような既製品が多かったです。お風呂はバスタブがありましたが、基本的にシャワーだけです。洗濯物は乾燥機で乾かすので、絶対に干しません。驚いたのは立地です。なんと山の斜面に建っていたのです。日本と違い地震が無いからです。休日



日にホストファミリーの孫のバースデーパーティーや映画を観に行きました。バースデーパーティーは大人数でピニャータと沢山の料理を楽しみました。映画館は日本のように

ショッピングモールの中に在るのではなく、映画館だけで建っていました。

ポートランドの街は東西南北に直線的に道路が引かれてあり、何処に居るのか分からなくなりそうでした。移動にはバスか路面電車をを用いると便利でした。しかし、ホームレスや薬物乱用者は少なからず居た為恐怖を感じました。

このように私は今回の研修で感謝の方向の違い、文化の違い、生活様式の違い、街並みの違いというように様々な違いを体験し、知ることができ、とても充実した研修でした。

伝える意欲があれば

宮崎 修太朗 (みやざき しゅうたろう)
知能ロボット工学科 2年

私はこのポートランド語学研修を通して、決して日本では得られない大きな学びを得ました。それは英語というものは「言語」である、ということです。当たり前のことのように思われるかもしれませんが、私が伝えたいのは、英語において第一に必要な要素は決して完璧な文法などではなく、相手に伝えたいことを伝える意欲であるということです。私はスピーキングよりもライティングやリーディングを重点的に学習するために学生に学ぶ学習時間に対して十分なスピーキング能力が伴わないということが日本の英語学習における最大の弱点だと考えています。そこで私は以前から自分のスピーキング能力を上げるべく動画などの様々な教材を用いて会話をいかに正確に早く発言できるかを磨いてきたつもりでした。しかしながら、アメリカに3週間滞在してわかったことは言語的正確さというものではないということです。このことを教えてくださったのは誰よりもこの滞在期間時間をともにしたホストファミリーやその親族の方々でした。

初めてホストファミリーの Sally と Craig に空港でお会いした時から別れるまでの3週間で、その気づきは顕著なものに変わりました。最初彼らと会話するとき、伝わるようになるべく正確な文を作ること考えながら会話していたのでなかなかスムーズにいかず謎の間を作ってしまうことも少なくありませんでした。しかし、様々な現地の人々と会話を重ねるうちに、彼らはさほど英会話における文法に重きを置いておらず、それ以上に表情やジェスチャーをうまく使って円滑な会話を成立させているのだと気づきました。それにあたって自分の使う英語も少しずつ変わっていきました。例を挙げるならば Do you like ○○? よりも You like ○○? といった簡単な省略に加えて表情を加えるイメージです。この気づき以降、自分の英会話の“ためらい”が一気に晴れ、以前よりもすぐに反応して会話できるようになりました。その点だけでも非常に有意義な研修だったといえます。

他にも他大学の友達を作れたり、様々なアメリカの文化に触れたりとともにここには書ききれないほどのたいけんをさせていただきました。大変感謝しています。培ったモチベーションを武器にこれからも英語学習に勤しんでいこうと思います。ありがとうございました。



多様な文化や価値観

林 飛隆 (はやし ひりゅう)
医薬品工学科 2年

今回の研修で私は多様な文化や価値観の違いや自分の英会話レベルを知り、魅力的な友人を作ることができた。ポートランド州立大学内での授業や放課後の時間の使い方は日本とは全く異なり、様々なアメリカ文化を経験し、学ぶことができた。

例えば、アメリカではチップを払わないという行為は侮辱を意味することは知っていたが、5ドルにつき1ドル支払うことは知らなかった。また、アメリカ人は親切で質問に対して下手な英語でも聞こうとしてくれたことは印象に残った。価値観において、

私はこの研修を通じて苦手な人の目を見て話すという行為を多少克服できたと思う。アメリカでは人の目を見て話さない人は信用できない人であるという価値観を持っており、その考えは日本と同じであるように感じたため、アイコンタクトを日々の日常から意識していきたい。

英会話についてはアメリカに着いてホストファミリーと初めて会話したときは、発音や表現がうまく伝わらずに意思の疎通が思うようにうまくできなかった。しかしホストファミリーの家で毎日英会話の練習をすることができ、今では多少は相手の発言を聞き取り多少返答できるようになったと思う。得たスキルを使用して英語に関する資格を取得したいというモチベーションにもなった。しかし個人的には3週間は少し短かったので帰国したときも英会話の練習を続けていきたい。

このプログラムには、他の大学からも多くの人が参加していた。学部も出身地も皆それぞれ異なっていたが休み時間などは雑談をして仲良くなることができた。この研修で会うことができた人たちといつか日本で会いたいと思うほどに交友関係を深めることができた。中には就職活動をしている人や医学部生、大学院進学を控えた方も来ており、今を懸命に努力し、夢に向かって頑張っている人達もいた。私もこの研修で出会い、努力している友人達に対して恥ずかしくならないように日々の学習や自己啓発に努めた。



同窓会正会員数

12,835 名

(2024年4月1日現在)

お願い: 住所不明会員が年々増えております。該当者をご存知の方は、事務局まで連絡いただけるようお願いいたします。

2023年度 同窓会総会・ 新校舎見学ツアー・懇親会報告

富山県立大学同窓会副会長・2023年度実行委員長
宇於崎 秀夫（工学部 電子情報工学科1期生）

今年度の富山県立大学同窓会総会は、新校舎となる中央棟2階の講義室にて14時より開催され、第1号議案から第5号議案まで全会一致にて可決されました。新しい校舎の講義室での総会は、まるで講義を受ける学生に戻ったような新鮮な気持ちで臨むことが出来、今後このまなび舎を巣立っていく輝かしい後輩に思いをめぐらせました。富山県立大学同窓会が、果たすべく役割や責務の重さを改めて認識し、同窓会理事の一人として「同窓生や在校生、教職員の方と連携を深め、今後ますます大学の発展に寄与していかなければ」との気持ちを新たに作る総会となりました。総会に参加頂きましたみなさま、ありがとうございました。

総会に続いて、今年度は新校舎見学ツアーを開催しました。見学ツアーには総勢100名ほどの方にご参加を頂き盛況な催しとなりました。ツアーは、まず、駐車場から中央棟入口に向かうと富山のアルミデザインを施したおしゃれな外観の9階建の建物に圧倒されることから始まりました。そして、入口内のエントランスロビーに入ると6階まで吹き抜けの大空間にまたまた圧倒されました。ここまでが受け付け前の出来事で、ツアーが始まると、石坂先生、岩井先生の軽妙なガイドの元、最先端の教育を行うDX教育研究センターや、1・2階吹き抜けの巨大な大講義室にまたまた圧倒され、最後には在校生でもなかなか入室することが出来ない中央棟9階にある特別会議室にご案内を頂き、9階からみる富山平野、山々、そして富山湾までを堪能し、一同感動を味わうことが出来ました。ツアーに参加頂きましたみなさま、ありがとうございました。

総会・見学ツアーを終わりますと、17時より場所を呉羽ハイツへと移し、懇親会を開催しました。懇親会は60名ほどの方にご参加を頂き、あちらこちらで数十年ぶりの再会を懐かしむ声が聞かれ、開催して本当に良かったと安堵しました。懇親会は、野開会長の開会挨拶で始まり、山本理事長から祝辞を頂いた後、中島副学長のご発声で乾杯の後、宴が始まりました。下山学長のビデオメッセージや新校舎建設風景のビデオ上映、出席者全員による一言近況報告の後、大抽選会を行い、大いに盛り上がり、最後に富山県立大学・富山県立大学同窓会の発展を祈念して万歳三唱をさせて頂き、大盛会の内に懇親会を終えることが出来ました。

今回の同窓会総会・懇親会は、コロナの感染懸念があり、2020年・21年・22年の3回の中止をはさみ、実に4年ぶりの開催となりました。2020年に実行委員会を立ち上げ、開学30周年を記念しての新校舎見学会ツアーと懇親会を企画したのですが、3年間中止になったにもかかわらず、2020年に実行委員となって頂きました熊野さん、山崎さん、上坂さん、安村さんにはそのまま実行委員を続けて頂き、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。2023年度の開催に際しましても5類になったとはいえ、コロナ感染懸念が無くなったわけでは無く、積極的な参加を見送られた方も多かったのではないかと思います。そのような中、ご臨席賜りました山本理事長をはじめご来賓の方々およびご出席頂きました同窓生のみなさまには厚く御礼を申し上げます。

今年度も、みなさまが参加したくなる企画・参加して良かったと思える企画を準備してみなさまのご参加をこころよりお待ちしております。先輩、後輩と大いに交流をはかり、富山県立大学を盛り上げて行きましょう。世界一集いやすい同窓会懇親会を目指して今後も取り組みたいと思います。みなさまのご理解、ご協力を今後とも賜りますようお願いし、そして何よりも今年度のご参加をお待ちしています。



新校舎見学ツアー 参加者の感想

- ▶見学できて良かったです。とてもきれいな校舎で、もう一度学びたいなと思いました。短大の校舎が無くなってしまったのは淋しいな…。
- ▶新しい校舎にワクワクしました。快適な環境で、学生の皆さんにはたくさん勉強、研究に励んでいただきたいです。現在 DX の業務を担当しています。近い将来一緒に働くことができると嬉しいです。
- ▶見学ツアーを企画して下さい、ありがとうございました。スタイリッシュな新校舎をゆっくり見学できてよかったです。中でも、普段は入れないという特別会議室の景色は素晴らしかったです。ありがとうございました。
- ▶技短大卒業以来、初めて当大学の校舎に入り見学させて頂きました。昔の大学のイメージとは全く異なり、時代の変化を肌で感じる事ができてとてもうれしく思いました。ありがとうございました。

新校舎見学会および講演会開催のご案内

2024年8月10日(土) 14:20～ ※詳細はホームページをご覧ください。

プログラム①：講演会『未来への架け橋～富山県立大学の歴史と展望～』 プログラム②：校舎見学会

昨年、好評をいただいた新校舎の見学会に、今回は講演会を加えて開催いたします。



大講義室



新校舎(中央棟)と周囲を囲む既存棟

2020年4月に完成した新校舎は、鉄筋コンクリート造(9階建:高さ約42m)地域のランドマークとなるシンボリックなデザイン。富山の地場産業でつくるアルミスクリーンを設置し、とやまらしい外観を演出しています。

茶道部OB様「茶道部創立60周年記念茶会のご案内」

富山県立大学茶道部は、昨年創立60周年を迎えこれまでの歴史を称え益々の発展を願い記念茶会を開催致します。近況を語り合い思い出にひと花咲かせ、皆様のよい思い出になりますようご参加を心よりお待ちしております。また長年ご指導を賜ります先生方々に感謝の意を込め記念品を拝呈致したく何卒皆様のご賛同をお願い致します。尚、今年の能登半島地震の影響で茶室「洗心庵」は使用できず大学館内でのお茶席となります。ご了承のほどよろしくお願い致します。

茶道部OB会会長 46期 石母田 剛(いしもだ つよし)

■会場 富山県立大学
富山県射水市黒河5180

■開催日 令和6年10月5日(土)

■茶席 受付 学生会館

第一席 10:00～

第二席 10:55～

第三席 11:50～

※濃茶席(学生会館)

→ 薄茶席(中央棟9階)

※席入15分前までに受付をお願いします

■レセプション(お茶会終了後)

受付 厚生棟 食堂 14:00～16:00

■申込方法 QRコードにて出欠を入力
してください。

締切 令和6年8月31日まで



■会費 (会費は当日受付にて)

①お茶席 3,000円

②レセプション 5,000円

③記念品 2,000円

※③記念品のみの方、下記口座へ振込みをお願いします。



※席数 および時刻の変更がありえますのでご了承ください。

振込先：富山第一銀行 金融機関コード0534 婦中支店 支店コード021

口座番号293839 普通口座 口座名義：千瓢の会 事務局 代表 金岡寿也

問い合わせ先 事務局 金岡 寿也 電話番号 090-3764-1508(午前のみ)

3冊の本

岡本 啓 (おかもと ひろし)

教養教育センター教授・学生部長



『千瓢』への寄稿は、2008年発行の第3号「私の好きなもの」以来となります。同窓生のみなさま、お変わりありませんか。今号では「3冊の本」に寄稿いたします。御笑覧ください。

私も還暦を過ぎて人生の残り時間も少なくなってきましたので、生涯に読むことのできる書物の数にも限りがあることを実感するようになりました。このためか、話題の新刊書よりも、人類の長い歴史のなかで読み継がれてきた所謂「古典」に一度は触れておきたいという気持ちが強まるようになりました。古典を原文で読みこなすのはハードルが高いため、古典読解の手引きとした2冊と、番外で絵本を1冊紹介します。

① 森本和夫 著 『正法眼蔵』読解 全10巻 (ちくま学芸文庫)

日本文化史上に燦然と輝く道元の『正法眼蔵』は、禪者独特の語法ゆえに、原文の読破は困難を極める。ここでは、森本和夫による丹念な読解を道標にして辿ってみる。『正法眼蔵』七十五巻本から、まずは「第五十三 梅華」を入り口としてお勧めする。「梅華」

の巻では、師である天童如浄和尚の思い出を、道元が愛惜の念を込めて語っている。難解な『正法眼蔵』の険路にあって、一輪の花に遭遇するが如く心安らぐ一巻である。

② 竹田青嗣 著 完全解説 カント『純粹理性批判』(講談社選書メチエ)

本書は、西洋哲学の至宝『純粹理性批判』のエッセンスを、原文の味わいを損なわず伝えようとした労作。カントは人間の認識能力を感性、悟性、理性に区分し、それぞれが経験に依らずに元々有している純粹な(アприオリな)形式や法則を検討することにより、「私は何を知りうるか」という問いに答えようとした。18世紀を生き、ニュートン自然学に精通したカントの哲学は、当時の最先端科学である古典力学的世界像の上に築かれていることが窺える。

③ 宮西達也 作絵 『わたしはあなたをあいしています』(ポプラ社絵本の時間)



白亜紀に生きる凶暴だが心優しいところもあるティラノサウルスを主人公とする絵本シリーズの一冊。本書の舞台は、北と南で話す言葉が違う恐竜たちの弱肉強食の世界。北に住むティラノサウルス(肉食獣)は、南に住むホマロケファレ(草食獣)とは言葉が通じない。普段交わることのない両者が偶然出会ったその顛末は……。他者を理解するということや言葉の本質、食べずには生きられないこと等々について、大人の読者をも思索の深淵へと沈潜させるだろう。

2025年版名簿発行のお知らせ

このたび、2025年版同窓会名簿を発行する運びとなりました。発行には慎重な声も聞かれますが、同窓会活動を広く皆様にお知らせし、発展させていくためには、定期的なデータ整備と名簿発行は必要不可欠なものです。

そのためには、皆様に現在の登録内容をご確認いただき、ご希望を反映した正しい内容で管理することが何よりも大切であると考えています。整備されたデータは、母校、同窓会の最大の財産です。11月上旬に調査票を送りますので、何卒ご協力をお願いします。

なお、個人情報保護法に基づき「安全」「正確」なデータ管理のため、会員名簿の作成では約50年の実績がある(株)サラトに業務を委託しています。



同窓会日誌



P12のつづきです。

私は、茶道部が主催する「お茶たて体験」に参加させていただきました。茶道部の皆さん、素晴らしい体験をありがとうございました。



同窓会では、毎年県大祭に助成をしております。これからも活気ある学生の未来のために、助成を続けていきたいと思っております。

2024年3月26日 千田さん ジュニア世界選手権 出場 激励会

2024年4月3日～6日、キエーザ・イン・ヴァルマレンコ(イタリア)で開催される「2024FIS フリースタイル・ジュニア世界選手権」に出場される千田さんに激励金を贈呈しました。学長から激励の言葉、千田さんの決意表明がありました。

富山県立大学同窓会へご寄付をいただきありがとうございます

たくさんの方から寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

この芳名録は以下の基準で掲載しております。

- 2023年6月1日から2024年4月30日までに、5口以上ご寄付いただいた方々を掲載しております。
- お名前は五十音順とし、肩書を省略して掲載しております。
- お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。
- ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、同窓会事務局までご連絡ください。

浅田 絃見 様	小林 悟 様	橋村 ヤス 様	三井 啓揮 様
荒木 甫 様	笹岡 繁 様	原 明 様	三川 八千雄 様
植松 哲太郎 様	芝田 信栄 様	平 好博 様	宮地 智章 様
岡田 滋 様	鈴木 清美 様	藤井 明 様	山本 実 様
奥田 實 様	田中 正人 様	藤川 智彦 様	湯浅 ひとみ 様
川原 秀晴 様	得永 栄治 様	藤田 人志 様	渡辺 正文 様
位寄 史好 様	永原 勇 様	松田 敏弘 様	ほか・匿名 26 名様

寄付金総額 **830,663** 円 (総件数 176 件)

※寄付金総額は、払込手数料を差し引いた後の金額となっております。

寄付金は1口2,000円です。(何口でも可) 5口以上寄付をしていただいた方にはプレゼントをお送りします。お振込方法等の詳細については、別紙をご覧ください。

声

◆鈴木康裕 (技・衛生工学・1975 卒)

時代ですね！ユーチューブで県立大学のPRCMみました。当大学の設立者大谷米太郎・竹次郎の先人のことを伝えて下さい！同窓誌に特集として掲載して下さい！

◆位寄史好 (技・農業土木・1981 卒)

とうとう、旧県立技術短大の校舎が取り壊されて、無くなりました。自宅から原付バイクで通学していたのは、昔物語になってしまいました。さみしさもありますが、立派な県立大の新校舎を見ると、将来の光が見える様で、うれしさもあります！

◆荒永隆司 (技・機械・専攻・1989 卒)

毎号、楽しみに拝見しておりますが、歳を重ねるたびに時代の移り変わりを感じております。これからも発展的に変わりゆく大学の状況など近況が感じられる記事をよろしく願います。

◆川野倫代 (大・機械システム・1999 卒)

イベントの抽選会で「カフェしえる」さんのお菓子を頂きました。とても美味しく、行ってみたいと思っていたときに、『千瓢』にカフェの記事が掲載されていて、初めて知りました。県大が活動されていることにも驚きました。これからも、地域と関わる活動を続けて行って欲しいと思います。

◆宮内俊貴 (短・生物生産・専攻・2003 卒)

短期大学部卒業の者です。かつての学び舎が解体され、姿を消したことに寂しさを感じています。短期大学部は2年間と、その名のとおり短い期間しか在籍できませんが、自身は非常に中身のある時間を過ごしたと感じています。

最近では看護学部、そして来年には情報工学部が新設されるとのこと、機会があれば、大学生に戻った気分で見学舎を見に行きたいと思っています。

◆佐々木淳矢 (短・生物・専攻・2004 卒)

大学の学生団体が支援しているカフェ、とても魅力的ですね。学生は地域の宝、活力源！多くの人に愛され長続きますよう願っています。

◆瀧澤依里 (短・環境システム・専攻・2012 卒)

県外へ出てしまい、中々母校のことを知る機会がないので、『千瓢』で少しでも知ることが出来て嬉しかったです。見学ツアーは子どもに見せてあげたいと思い参加することに致しました！今後もワークショップなり見学等でできれば嬉しいです。

◆山崎稜太 (大・環境・社会基盤・2018 卒)

毎号、楽しく拝見しています。滋賀から富山は遠いですが、旅行などで富山へ行く機会があれば、母校や研究室に立ち寄りたいと思います。

◆室谷拓也 (大・機械システム・院前・2018 卒)

大学院で2年だけ在学していましたが「研究室紹介」「3冊の本」等を拝読し、県大も日々進化していることを感じています。

◆上 慧 (大・生物・2020 卒)

浅野名誉教授が退職される記事を読んで、感慨深かったです。授業で生物の誕生についてご教示いただき、生物学がより楽しくなりました。4年間だけです、生物工学科に入学・卒業できてよかったと思っています。本当に、お疲れさまでした。ありがとうございます。

2024年度同窓会総会のお知らせ

富山県立大学同窓会&新校舎見学会

開催日 2024年8月10日(土)

昨年好評をいただきました新校舎の見学会および懇親会を下記の通り開催いたします。同じ大学で学んだ仲間が集う唯一の会となりますので、みなさまの参加をお待ちしております。

新校舎見学会および講演会

受付場所 富山県立大学中央棟1F

時間 14:20～16:00

プログラム①講演会

『未来への架け橋～富山県立大学の歴史と展望～』

プログラム②新校舎見学

※入場は無料となりますが、人数把握のため、事前の申し込みをお願いいたします。

■実行委員

【委員長】馬場(南部)恭子(大2機械)

【技短22応数】橋本(長田)美加子、坂尻(酒井)千佳 【技短21衛工】沖俊典、綿谷浩

【大2機械】石見嘉治、板橋(井上)久希、片山泰弘、森井平、浅井典子、山口真美、田村友朗

【大2電子】端崎紀世志、佐原厚生、柳瀬和宏、花車(余西)弥生、高田満、須田正樹、石坂圭吾

【大3電子】丹羽(黒崎)美和子(次期実行委員長)

※()内は在学時姓

懇親会

場所 パレブラン高志会館 富山県富山市千歳町1-3-1

時間 17:30～(受付16:50～)

会費 3,000円

宿泊 ご希望の方は、直接パレブラン高志会館へお問い合わせください。懇親会参加者は、「富山県立大学同窓会参加」とお伝えいただくと、割引価格でご利用いただけます。

能登半島地震の影響により、懇親会会場が、呉羽ハイツから高志会館に変更となりました。

日 程

2024年8月10日(土)

13:30～ 総会(中央棟講義室)

14:20～ 新校舎見学会及び講演会(中央棟)

17:30～ 懇親会(パレブラン高志会館)

出席される方は7月10日(水)までにご連絡ください。

連絡先

富山県立大学同窓会事務局 炭谷 優子

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

TEL 0766-56-7500(内線1661)

ホームページ <https://tpu-dosokai.jp/>

同封のはがき、またはホームページからお申し込みください。

こちらのフォームからも
お申し込み可能です。



ご意見、ご要望、住所変更手続きなど、各種お問い合わせをお待ちしております。

富山県立大学同窓会公式ホームページ

<https://tpu-dosokai.jp>

Facebook 公式ページ

fb.me/tpu.dosokai

編集後記

▼去年の「新校舎見学ツアー」は大好評でした。特に9階からの眺めはちょっとした驚きだったようです。今年も「新校舎見学会」を計画しました。多数の参加をお待ちしています。

▼学生食堂の代金が100円安くなる。これは魅力的なことと思います。この企画を同窓会が後押ししています。毎月第1水曜日に100円引きの「同窓会デー」を開いているのです、なかなかいい企画だと自画自賛です。

▼忘れられない日や時間があります。今年の元旦の午後4時10分、初詣で呉羽の姉倉比売神社(あねくらひめじんじゃ)の石段を登っているとき地震に遭遇して、石段を急いで駆け下りました。近くでは電線が垂れ下がっていて、電力会社に連絡するが繋がらない。各自の忘れられない午後4時10分があると思います。

▼今回もアンケートはがきを同封しました。皆様のご意見をお待ちしています。

(2024年5月9日 池上 勁)